

実名参加の掲示板（EX-BBS）へ登録はあるものの、なかなか投稿が寄せられないのが現状である。実名や所属所名を出して投稿することに抵抗を感じていると思われる。今後は具体的な事例を挙げ、同職種内での事例検討や他職種との関係について、より専門的で活発な情報交流ができることを目指し運営していく必要がある。また、リニューアルの構想に掲げつつも実行できていない、他職種の研修会の案内や声をひらきあげる情報提供のページも充実させていきたい。

今後は、子どもが生まれてから就学までの情報関係も見据え、幼稚園養護教諭の同職種内の横の関係はもちろんのこと、幼児期健康支援担当者である他職種との縦の関係も視野にいった内容を考え、ホームページ上での情報の利活用を図っていく必要があると考える。

そこで、幼児期健康支援担当者関係に必要な10か条を以下のごとくまとめてみた。

1. 互いの職務内容を知る 個人差レベルではなく職務差での話し合いをする
2. つねに揺さぶりをかける情報の提言をする
3. 子どもたちのために取り交わすべき情報関係を考える
4. 情報の送り手であり受けてであるという意識をもつ
5. 他職種との関係を強化するために同職種での関係もしっかりと
6. 情報を入手しやすい情報環境整備（ホームページで最新情報をアップする）
7. マスコミや専門誌への広報活動
8. すべてのこどもの情報関係ができるシステム構築
9. 「関係」から「連携」につながる研修会及び担当者会の実施
10. すべての子どもたちの未来につながる関係であることを忘れずに

表1. ホームページリニューアルの構想

各コンテンツ	リニューアル後
トップページ	かわいいイメージからシンプルですっきりしたデザインにする。コンテンツの表示を変える。
はじめに	担当母体の研究名を16年度版にし、今年度の研究協力者名をあげる
今行っている研究	「研究について」のページにし、中は「今おこなっている研究」と「過去に行った研究」を含む。「今おこなっている研究」には、今年度の研究の概要を載せる。「過去に行った研究」には、現存の平成15年度研究の概要とニーズ調査の結果をPDFファイルで載せる。
リンク	厚生労働省と文部科学省のHPを追加する。
幼稚園に勤める養護教諭の数	平成16年度の学校基本調査から引用して表を作り載せる。また、平成15年度の当研究で知りえた養護教諭数の表を掲載するかは、検討する。
教材研究	ほぼ1年間内容を提示できなかったので一旦削除する。また、内容に関しては、公募することを考えている。
研修会	「各種団体の研修会・研究会の紹介」には、HP上でも紹介したい研修会・研究会を公募し、「幼稚園関係」「保育園関係」「地域保健関係」などに分け、掲載する。
掲示板	今は、teacupの掲示板を使用しているが、迷惑書き込みや、CMなどがついてくるので、HPを作成したeonetの掲示板が利用できるか検討。eonetの掲示板は、パスワードを入力して使用できる会員制のような使い方もできるので、これを使えば、実名でのやり取りが可能になるかも。
情報交換会	「掲示板&オフ会」とトップページの表記を変更する。2学期に一度オフ会を開催することを案内する。
新たなコンテンツ	「アンケート」のページをつくり、利用者の声をひろいあげるようにする。 「公募」や「情報発信」というページもつくり、みんなで共有できる教

材や保健指導指導案、養護教諭の配置状況の情報を提供してもらえるように呼びかける。

表2. ホームページリニューアルの実際

新たなページ	リニューアルした内容
トップページ	シンプルですっきりしたデザインにする。コンテンツの表示を左端に寄せ、見やすくした。
はじめに	担当母体の研究名を16年度版にし、今年度の研究協力者名をあげる
研究について	「研究について」のページにし、中は「今おこなっている研究」と「過去に行った研究」を含む。 「今おこなっている研究」には、今年度の研究の概要を載せる。「過去に行った研究」には、現存の平成15年度研究の概要とニーズ調査の結果をPDFファイルで載せる。
研修会	「平成15年度研修会」には、昨年度の内容を掲載。「今年度の研修会」には、研修会の告知や報告書を掲載する。
掲示板&情報交換会	HPを作成したeonetの掲示板は、パスワードを入力して使用できる会員制のような使い方もできるので、これを使えば、実名でのやり取りが可能になる。掲示板には、既存の「yoyoclub」と「EX-BBS(認証あり)」をアップする。 情報交換会のページには、開催の告知や報告書を掲載する。掲示板の参加も促せるようにとこのページの中に「お役立ちイラスト集」を掲載する。
幼稚園の養護教諭の配置数	平成16年度の学校基本調査から引用して表を作り載せる。
リンク	厚生労働省と文部科学省のHPを追加する。

図1. アクセス数の推移

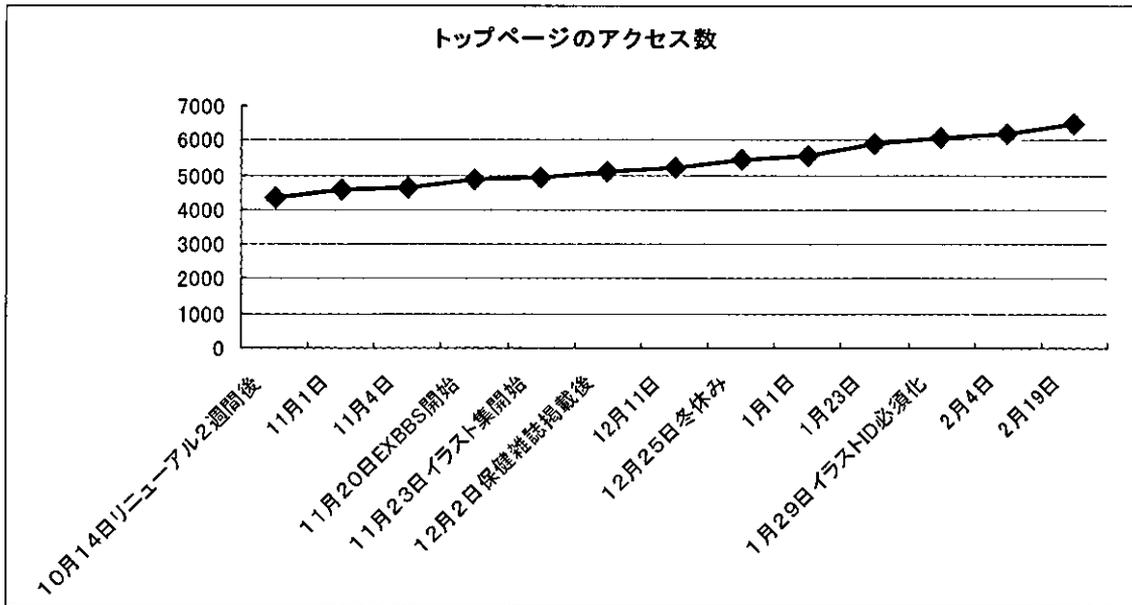


図2. リニューアル2ヶ月半後の各コンテンツのアクセス数

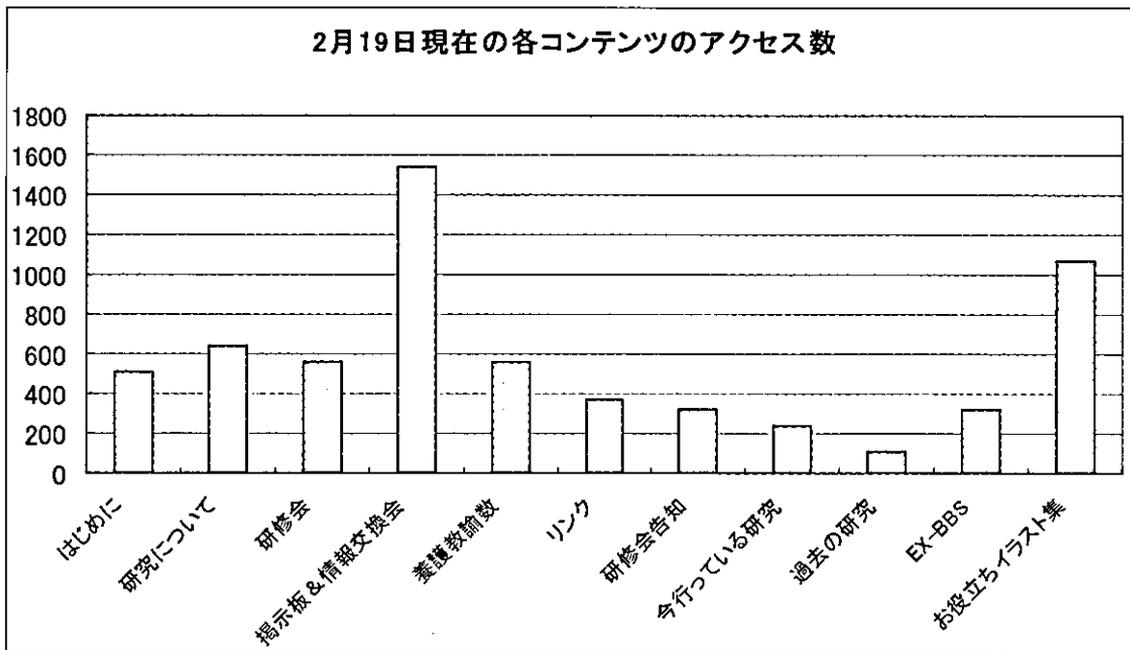
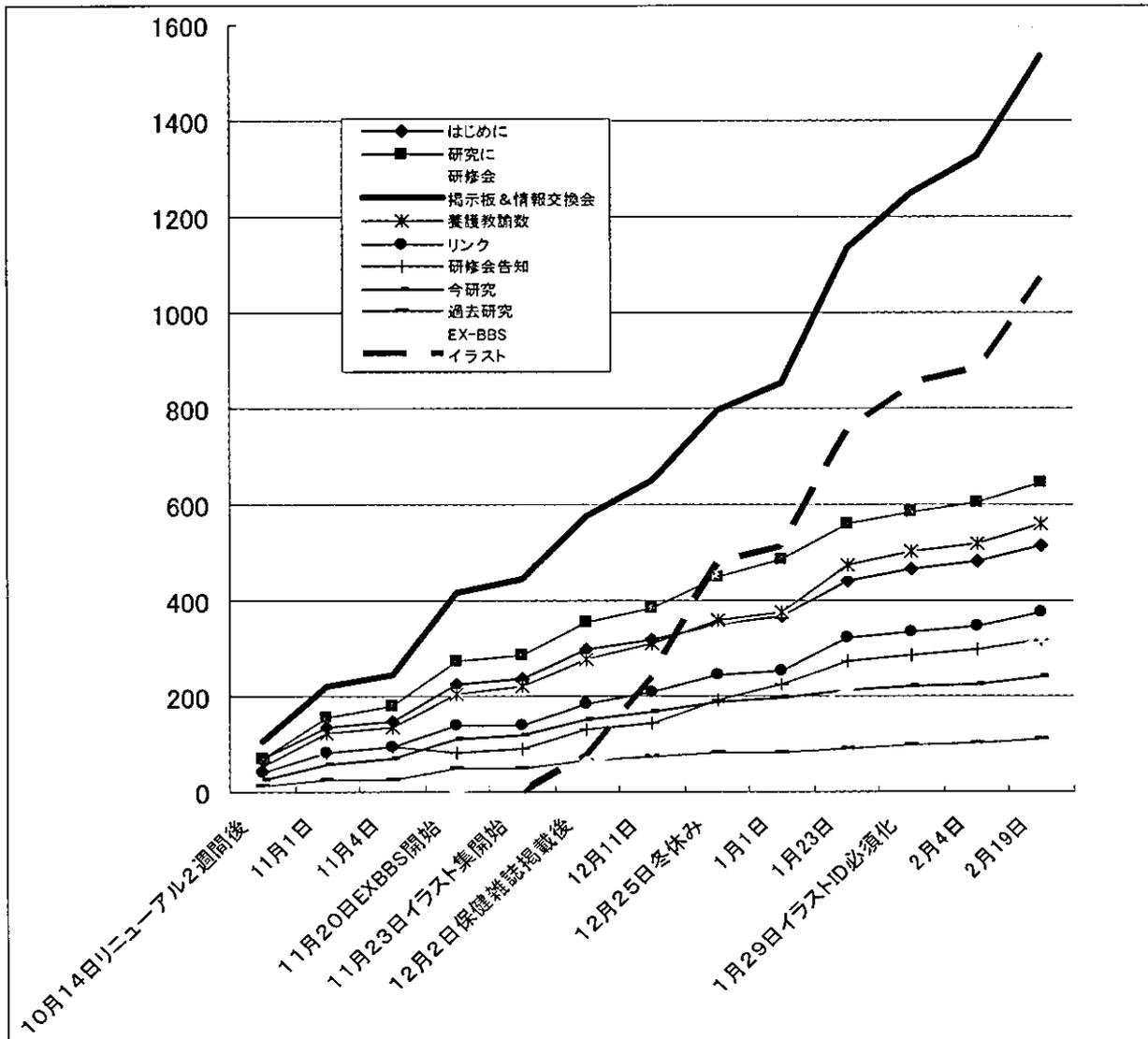


図3. 各コンテンツのアクセス数の推移



幼児期の健康支援に携わる専門家における保健指導教材のニーズ及び情報に関するニーズに関する研究

小松原かおり 京都教育大学附属幼稚園
山口 智佳子 奈良教育大学附属幼稚園
松浦 賢長 福岡県立大学看護学部地域国際看護学講座
山縣然太郎 山梨大学大学院医学工学総合研究部

昨年度、幼児を対象とした保健指導教材（紙芝居「とんでった は」）とパンフレット（幼稚園の健康診断のいま）を厚生科学研究山縣班において開発し、研究プロダクトとした。そのプロダクト申込者を対象に「平成15年度版研究プロダクトに関する調査」を行い、幼児の健康実態に合った内容の保健指導の教材開発や教材研究方法についての示唆を得た。幼児期の子どもにあった教材が少なく、幼稚園では、小学校低学年向けに開発されているものを用いている現状があった。さらに、昨年度厚生科学研究山縣班において全国の幼稚園養護教諭を対象に行った「幼稚園養護教諭における同職種内連携ニーズ調査」の結果に対しても意見を求めたところ、幼稚園養護教諭同士の連係（人と人とのつながり）の重要性やこれからの課題に気づいたという意見も多くあった。幼児期の健康支援に携わる専門家としての力量アップや資質向上には、同職種同士の情報交換に加え、日々の実践に必要な保健指導教材やその他執務に必要なプロダクトを開発する必要があると考えられた。

これは、今年度本研究班で行った「研究プロダクトに関する調査」や「研究プロダクト開発」へつながるものとなった。

I. 研究の目的

昨年度、幼児を対象とした保健指導教材（紙芝居「とんでった は」）とパンフレット（幼稚園の健康診断のいま）を厚生科学研究山縣班において開発し、研究プロダクトとした。幼児の健康実態に合った内容の保健指導の教材開発や教材研究方法について、また、今後の職務に必要な情報のニーズについて、同班が昨年度、全国の幼稚園養護教諭を対象に行った「幼稚園養護教諭における同職種内連携ニーズ調査」の結果を踏まえ、上記プロダクト申込者を対象に、「平成15年度版研究プロダクトに関する調査」を行った。

II. 研究の方法

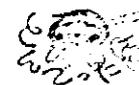
昨年度、厚生科学研究山縣班において実施された「幼稚園養護教諭の配置状況に関する全国基礎調査」で知りえた419園の養護教諭を対象に、「幼稚園養護教諭における同職種内連携ニーズに関する調査」を実施した。その後、「同職種内連携ニーズに関する調査」結果希望者131名に対し、結果と一緒に研究プロダクトの紹介文を送付した。その結果、幼稚園養護教諭53名から研究プロダク

ツの送付依頼があった。前年度開設した幼稚園養護教諭のホームページにおいても広報したことにより、保育園看護師3名、地域保健師3名、小学校養護教諭1名、養護学校養護教諭1名、歯科衛生士1名、県保健増進課職員1名、大学職員1名の計11名からも研究プロダクトの送付依頼があった。合計64名の送付依頼者を対象に、「平成15年度版研究プロダクトに関する調査」を郵送質問紙法で実施した。

III. 研究プロダクト

1. 紙芝居「とんでった は」

研究プロダクト
紙芝居「とんでった は」



2. パンフレット

幼稚園の健康診断のいま



IV. 結果

1. 研究プロダクツ申込者の職種

1. 幼稚園養護教諭	53人(81.5%)
2. 看護師	3人(4.6%)
3. 保健師	3人(4.6%)
4. その他 歯科衛生士 小学校養護教諭 養護学校養護教諭 県保健増進課職員 大学教員	5人(7.8%)

2. プロダクツに関する質問紙調査結果

問1. 研究プロダクツをどのような機会に活用される予定ですか？

- ・幼稚園で実施するハミガキ教室で活用させて頂く予定です。
- ・村内幼稚園で実施しているむし歯予防教室で活用したいと思います。
- ・看護学生への教材として活用したい。
- ・幼稚園での保健指導～体重測定の前時間を利用して。
- ・パンフレット…当園の保健安全計画の立案・見直しの参考にさせていただこうと考えています。
- ・紙芝居…内容をじっくり見させていただいてから、歯科健康診断やむし歯予防週間と関連させて活用したいと考えています。
- ・保健指導（歯の衛生週間）
- ・県内市町村が実施する3歳児健康調査の助言・指導6月から上記の職場に勤務することになりました。保育園の看護師として検診に役立てたいと思います。
- ・保健指導など歯科保健指導保健指導やクラス担任への説明に活用してみたいと思います。

問2. 紙芝居についての感想や意見（活用された機会、活用されての感想など）

- ・保健室で、普段の保育の中で紙芝居を読み聞かせました。大変興味深く、他のあそびをしていた子どもまでが、身をのりだして見ていました。6月には各保育室の博でも活用し子どもたちの「歯」に対する関心を高めようと思います。
- ・6月の虫歯予防デーに合わせて、全員で（良い）歯の集会をしました。その時に紙芝居をみて歯磨き指導をしました。歯磨きしないと、口の中から歯がポーン！！と飛び出して行ってしまうという思いがけない内容に子どもたちも静かに聞き入ることができました。
- ・私が、いままで望んでいた教材を手にして、飛び上がって喜びました。担任に相談した結果、年長児なら理解できるとのことで、6月4日の「むし歯予防デー」に、5歳児を対象に紙芝居を行いました。当日まで、効果的に進めるためには何回か練習をしました。ページをめくる時、リングの端が不都合なことに気がつきました。当日はリングを外して台に置き「落とし紙芝居」にしました。1ページ読んだ後、前に倒し裏面を読みました。紙芝居を読んだ後、子どもに感想を聞きました。「おもしろかった」「歯が飛んだところが怖かった。私もお弁当の後は、忘れないで歯をみがきます。」と言っとう一度感想を聞いたところ、半数の子どもが「はがとんでこわかった」と感想をくれました。その後、グループ別に歯みがき指導をおこなった時、歯の磨き方を真剣に体得しようとしていました。“歯が口の中からでていく”という発想にびっくりしました。頭をガンと殴られた感じです。診療所でも幼稚園や小学校の衛生指導（歯みがき衛生週間のみ）の時にも歯は口の中にあって当然の話でした。それ以前の問題にを忘れていました。表情豊かな絵、子どもの心を上手く掴んだ人たちならではの作品に感心しました。

問3. パンフレットについての感想や意見（活用された機会、活用されての感想など）

- ・パンフレットをコピーして全職員に配布しました。幼稚園での定められた検査等詳しくは知らない先生方もいらっしやったのでとても良かったです。

- ・本研究が完結した後、このパンフレットが全国すべての国公立幼稚園に届いてそして活用されて欲しいと思います。

問4. その他どんなことでもお書き下さい

- ・今後も保健指導や資料の提供やHPなどの提供の場を確保していただき養護教諭が連携をとりながら日々の実践に取り組めることを願っています。貴重な資料をありがとうございました。
- ・いつも教材さがしには悩まされています。紙芝居をいただけてとてもありがたかったです。
(欲を言えばリング止めになっていないほうが使い勝手がいいような気がします…すみません。) 神戸市は一応独立園で全園に養護教諭が配属されていて毎月1回(よりは少ないですが)研修の機会をいただいています。36名が4グループに分かれて、それぞれテーマを決めて1年ないし2年3年計画で、1つの研究として仕上げています。先日その会があったのですが、私のグループではみんなこの紙芝居の存在をきいてうらやましがっていました。(7月号の健にのっていたトイレの教材の話でも盛り上がりました)よかったらこれからもいろいろな教材情報工夫などをいただけるとうれしいです。みんなにも伝えます。
- ・多忙な養護教諭のために多種多様な保健教材が開発されることを願っています。
- ・何時も話している事を紙芝居にしたら分かりやすいのではないかと考えて「紙芝居サークルおもちゃ箱」に入り辻太一氏の指導で初めて紙芝居をつくりました。テレビやパソコンの画面に慣れている子どもたちが下手な手づくり紙芝居等みてるかとヒヤヒヤでしたが誰も一生懸命見ていて感激しました。社生士会でも話題にしたいと思っています。「とんでったは」で歯を磨かないとダメだと分かり私の「むし歯ブラークマン」で磨かない歯はどうなるかがわかりやすくなると私なりに考えています。私の地域では移動図書館がありサークルも同行していてそこで紙芝居を披露しています。時間があれば参加したいと考えています。今回は本当にありがとうございました。今後共々活躍を期待しています。

3. 情報に関するニーズについての質問紙調査結果

問1. 幼稚園養護教諭における同業種間内連携ニーズに関する調査報告書を読んだ感想・意見

- ・幼稚園養護教諭を取り巻く環境が本当によくわかりました。重要な調査だと思います。養護教諭の仕事の内容も身分も地域や園によって実に様々であると実感しました。30数年前4年制の大学を出て養教(小学校)の仕事に就いた時に感じた状況とあまり変化していない部分も多いと驚きました。
- ・みんな私と同じようなことをかながえているんだなあ…と思いながら読みました。いくら悩んでもしかたがない悩みが多いですが(施設面・雑務etc…)そんなことを一緒にし合える仲間がいると心強いなと思います。幼稚園の養護教諭は専門職として、幼児期における指導や教材・情報等が少ない(乏しい)上に、いろいろな問題をかかえていると感じているのは私だけではないといくことがよくわかりました。私はまだ恵まれた中にいると思いますが、それでももっと幼児にあったものが情報としては欲しいと常に感じています。これを機械に少しでもピッタリくる情報や資料等が得られれば嬉しく思います。
- ・同じように悩んで仕事をしている先生が多いのに驚きました。
- ・同じような悩みを持っておられる方がたくさんいることがわかりました。
- ・全国にも同じような考えや悩みを持っている人がいるのを知りました。これを機に交流の輪を広げていけたらいいなと思います。
- ・幼稚園の養護教諭同士の研修会や研究会があると回答している人が多かったことには驚きです。本県は、幼稚園養護教諭が他にいないため、情報交換がなかなか行けません。それゆえに、全附連の会などで日頃の執務について意見交換ができる場をととても貴重に感じています。
- ・養護職員という採用のしかたもあるんですね…。採用されたときに「あなた達は教育者であり医療従事者ではありません」と言われた言葉を思い出しました。養護教諭の執務内容と世間一般に求められているものと少しずれがあるのかなと感じることもあります。試行錯誤の毎日です。

- ・全国の幼稚園養護教諭の生の声（本音？）を聞くことができるとても興味深く真剣に読ませていただきました。日頃疑問に思ったり戸惑いを感じたりすることはあってもほとんど誰にも言えず、またどのように対処解決したらよいかわからず、手探りの方が大半だということが良くわかりました。ほとんどのコメントが他人事とは思えませんでした。
- ・数少ない幼稚園養護教諭を取り上げて下さってありがとうございました。私は小学校に1年幼稚園に24年勤めています。2園かけもちで雑用ばかりですが、何とかがんばっています。全国を調べていらっしゃるので大変な費用と労力で感心しております。
- ・幼稚園養護教諭の配置率の少なさを改めて感じました。自園での兼務（2～3園）でも恵まれていると思いつつ仕事内容はやはりどこもおなじような養護教諭以外のフリーの担任のような仕事をしていると思います。きちんと養護の仕事を確認していくように持っていかなければと思います。
- ・みまさん手探りの中仕事をすすめられているのだなと思いました。その幼稚園幼稚園で管理職の考えや体制で仕事内容もずいぶん違うものと驚きました。
- ・相談したいことがあってもなかなか電話やFAXでは、もどかしさを感じています。今回ホームページができたことをうれしく思うと共に皆で活用していかなければと思います。
- ・市立幼稚園を3園兼務しております。共感できることも多く幼稚園に勤務する養護教諭の仲間がいろいろ悩みをかかえながらもがんばっている様子に共にがんばっていきましょうという気持ちです。幼稚園養護教諭の研修会などが夏休みなどにあればうれしいのですが。
- ・結果を見ると自分自身が感じていることは、ほとんどの方が思っているのだと感じた。幼稚園教育の中で養護教諭の立場をどうとれえ、どう行動していくのか自分の課題です。
- ・考察のとおり執務形態や専門性以外の仕事の量で悩んでいる様子が伝わりました。学校の養護教諭も実践を積み重ねで今の養護教諭の姿があると思うのでたくさんの実践交流・反省を積み上げていくことが大切なのでしょうね。
- ・同じような悩みを抱えている方もたくさんいることを知り心強く思いました。たくさん意見をとりまとめ、搭載していただいたことに感謝いたします。
- ・興味深く読ませていただきました。幼稚園の場合、他の学校種と違い待遇や立場からまず統一されていないため子どもたちのことで悩む前段階での悩みが特に多いように感じます。同時に保護者への支援もしやすくいろんなことの基礎をつくる幼児期ということなどと考えると幼稚園の養護教諭は絶対に必要だという思いを一層強くしました。
- ・幼稚園の養護教諭の立場はまだまだしっかりと確立されていない事を強く感じました。しかし、幼稚園にはやはり養護教諭は必要で他の保育士とともに（雑用におわれることなく）保健指導の時間を年間計画できっちりと入れ体と心を大切に指導をコツコツとやっていきたいと思えます。
- ・配置率でいうと大変低いのですが、こんなにたくさんの幼稚園養護教諭が、子どもたちの健全な成長発達のために頑張っていることを知り勇気付けられます。小中高養護教諭と職務内容は同じ、ただしどこにより比重がかかるのかの違いはあるだろう。研修の機会もまた養護教諭の職務がきちんと遂行できるような体制作りへの一助にしたい。
- ・配置されている数は少ないけれど幼稚園にも養護教諭がいることが、全国的な数値でわかってよかったです。人数は少ないけど、みんなで力を合わせれば幼稚園養護教諭の必要性を全国的に展開できるようなきがしました。
- ・幼稚園養護教諭については地域によって配置状況が異なるのでそれだけ幼稚園に養護教諭がいることが当たり前になっている地域となっていない地域があり、なっていない地域については同職種内連携がとても必要だと改めて感じました。各自治体でも配置形式は様々なのでお互い積極的に連携して情報交換を行っていかないといけないと思いました。
- ・皆さん色んな課題や悩みを抱えつつ仕事されていると思った。仲間同士助け合い支えあえれば心強いと思う。
- ・ちょっとがっかりしたり、落ち込んだりしました。幼稚園養護教諭のヒドさに……。私は楽しくやっていたので。

- ・それぞれの幼稚園で活躍されている先生方の仕事に対する意識や悩み等が分かってよかった。自分だけではないんだという気持ちももてた。
- ・公立幼稚園の先生がたの意見がとても多いのに驚きました。ただ他校種に比較するとまだまだ少数で社会的な知名度も低くこれからの職種だと思います。現在勤務している者の価値観や活動が今後大きく影響しそうです。
- ・幼稚園の養護教諭は確立されていないので小中高校のように今後確立されたらいいのですが・・・。
- ・他の幼稚園養護教諭の思いも伝わってきました。今後のホームページも見てみようと思っています。
- ・A市幼研という研究会のおかげで幼稚園間の交流が少しできているだけでも恵まれている立場なのだと思います。小中の養護教諭とは職務内容がかなり違うので幼稚園の養護教諭の方々ともっと交流したいと思います。
- ・私と同じ2園兼務3園兼務で勤務している先生方が多いことに驚きました。
- ・あまり知る機会のなかった全国的な幼稚園養護教諭の実態を知ることができ、さらに同職種内連携ニーズの高さに気づき、自分自身も何らかの形で情報を発信したり問題提起していく必要性を感じた。
- ・私は、公立幼稚園に勤務している養護教諭です。今の施設には保健室はなく、職員室の一角に保健コーナーがあります。医療戸棚とベッドと数個の幼児用椅子があります。ただそれだけのスペースですが、大変役立っています。急ぎの仕事以外は職員室の椅子に座ることなく、動く保健室となり園内のどこかにいます。幼児の一人一人の健康観察もでき、保育の内容によっては補助することもあります。園内・外の研究会は6部会ありその中の5部会に参加しています。週案にも顔を出しています。その他にも歳入（保育料・入園料等徴収）事務、歳出（消耗品・備品購入）事務も園務分掌として行っています。当然、時間のやりくりは必要になります。色々な仕事をしていますが、職務にはプラスに働いています。
- ・みんな同じ現状に悩んでおられることがよくわかります。また、若い・年配にかかわらず、専門職としての認識理解をまわりの教諭の先生方

にもっとしていただきたいと思っています。そのためには、私たちの地道な実践が必要になっていると思います。

- ・今春異動で幼稚部のある本校に来ました。それまで高校だったんで??の連続でインターネットで貴HPを検索した次第です。これから勉強させてください。

問2. これから欲しい情報や研修のテーマについて（具体的に）

- ・幼児期から望ましい食生活習慣を育てるためにそれら関連したもの。食を通して育つもの大きさを感じるが実際に子どもたちが持参するお弁当は年々レトルト冷凍食品が多くを占めるようになってきている。AちゃんBちゃんCちゃんのお弁当のおかずが同じといったことも珍しくない。お弁当の向こうに作り手の顔が見えることを大切にしたいと思う。
- ・幼稚園養護教諭1年生の私は、実際の保健室運営、工夫されていること取り組み・おたより・教材などどんなことでも教えていただきたいです。
- ・新しい病気や予防接種法などが改正された時にはいち早く情報が知りたいと思います。公文書等も幼稚園にはまわってこない事が多々あります。保健指導の教材作りの研修会があればいいです。
- ・幼児期に是非身に着けておいた方がいいというもの何か（いろいろ価値観のある中でも）これだけはというものをしっかり考えていきたい。幼児は幼児なりに自分で考えていける保健指導の在り方。保護者への情報提供や（共に考えていけるような）幼児に対する保健指導の情報が知りたいです。
- ・子育て支援ということで幼稚園でもいろいろなことが入っています。養護教諭としてどのようにかかわっていけばよいかと思っています。
- ・保健指導・・・指導案や教材の工夫
- ・今回自分達側だけの本音を聞き出しており、逆に自分達の職場の他職員（園長も）生の声を（反対の立場からの）聞きたいなあと思いました。同僚として養護教諭をどのように見ているのか何を求めているのか…日ごろ身近につきあってもある意味こわくて聞けない部分、また実際私たちをどのようにとらえているのかかな

り興味があります。(幼稚園に配置している役所側の本音も聞き出せたら最高ですね)

- ・幼児期に大切な保健指導について4～5歳だから指導して身につけるものポスターや表示の園向きのわかりやすい物が手に入る方法や保健指導をしていく上での教材や資料の提供
- ・健康診断や保健指導についても知りたいのですが。毎日の仕事の流れ等日々の仕事。他の園ではどんなことをされているのか知りたいです。学校のように子どもの対応におられることも少ないと思うのですが・・・。
- ・保健教材の紹介・執務上の工夫・保護者への講話の内容など。
- ・応急処置・保健指導など実際に活かせる研修会などがあればうれしいです。たとえば保健指導では「睡眠」「朝食」「排便」(生活リズム)の大切さを4歳5歳にわかりやすく指導できる教材作りや指導内容など。性教育の教材についても知りたいです。健康診断の事後措置についても知りたいです。
- ・幼稚園でどのように仕事をしているのか・情報がほしい。幼稚園での養護教諭は必要だと言われている中で反対にすぐなくせる立場でもある。だからこそ今何をしなければいけないのか勉強していきたい。

問3. yoyoproject 幼稚園の養護教諭のホームページをご覧になった意見・感想

- ・社会環境が日々変化していく中で、幼児が健やかに今後育っていくために幼稚園や地域保健が、なっていく役割は大きいと思います。そのためには、関係職種が連携をはかっていくことは不可欠だと思います。
- ・まだゆっくり見ていないのでこれから見たいと思います。興味のあるホームページなので、ゆっくりじっくり見たいです。
- ・幼稚園養護教諭における同職種間連携ニーズに関する調査の報告を楽しみにしています。
- ・幼稚園の養護教諭は少ないし情報交換ができなかったけど仲間ができて本当に嬉しく思います。
- ・みなさん、似たようなところで悩んでいる事を知り心強く思いました。中→小→幼と経験し、幼では養護教諭という職への理解が非常に遅れていると実感しています。みなさんの意見を参

考にさせていただいています。

- ・色々な場で働く養護教諭が居てそれぞれが子ども達のために一生懸命がんばっていることを改めて実感しました。
- ・市町村が実施する3歳児健康調査のフォローが事実上幼稚園の健康診断で対応されているケースもあると聞いており、学校保健について勉強するために活用させていただきたいと思います。とても参考になります。
- ・とてもかわいらしくできていてよかったし、情報がよかったです。
- ・非常に実用的でニーズに合った情報を得る事ができ有難いと思います。
- ・時間のあるときにたまにのぞいてみます。現場の声が聞けてとても参考にさせていただきます。みていて勉強になります

問4. このホームページをお知りになったきっかけ

- a 当研究班からの調査のとき「お知らせ」を見て 1人
- b 「健やか親子21」のホームページを見て 3人
- c インターネットで検索して 4人
- d その他 4人

その他の自由記述

- ・「健」の中で紹介されていたけどどうまくアクセスできずにいたところ「幼児のからだこころをみつめて」冊子を紹介しておられた知り合いの先生からおしえてもらったのです。
- ・他園の先生から聞いて
- ・雑誌「健」
- ・知人より

問5. yoyoclub 掲示板をご覧になったことはありますか?

- a. ある…5人
- b. ない…6人 (理由)
- ・今回健やか親子21のホームページをみてはじめて知ったため。

問6. 投稿されたことがありますか?

- a ある1～2回…1人

- b 3～4回 …1人
- c 5回以上 …1人
- d ない …2人

(理由)

- ・職場で見る事が難しい。これから自宅で参加させてください。でもこちら（関東より上）で見ている人って多いのでしょうか？

問7. ホームページでこれから欲しい情報やとりあげて欲しいテーマについて

(具体的)

- ・食育について
- ・食育について、虫歯予防教室について
- ・紫外線対策どうしているかー各園でのとりくみ。
- ・保健室にある薬品、何がいいのか（先生達はどういう薬(例えばかゆみ止めでも)を使用されているのか)
- ・園の保健委員会設置の有無について。保健に関する危機管理について。→マニュアル作成した園ありますか？
- ・実践報告
- ・不明
- ・保健指導の実践について
- ・今のところ掲示板で時事的な情報を得られることにとっても満足しています。今後強いて言えば、皆さんがどのような(テーマ、内容)保健指導をなさっているのか知りたいです。
- ・幼児の肥満について(保護者へのかかわり方について)。健康診断について(どのように検査をすすめるか等)
- ・幼稚園・小学校連携の健康(からだ・こころ)の研修で特に低学年時の
- ・毎日忙しく保健教材の作成の時間がなく、保健指導の要望があっても新作品を持っていくことなく昨年の教材に少々手を加えるだけの登場が多いです。すぐに使える教材が欲しいです。
- ・具体的な教材研究

問8. 今、職務に役立っている著書はありますか？

著書名

- ・生活習慣病予防・調査票づくり
- ・子ども医学館：小学館
- ・“かがくのとも”福音館書店←とっても参考になります。・月刊科学絵本
- ・エンカウンターでイキイキわくわく保健学習・

ゲームで保健の授業

- ・イラストによるお母さんへの病気の説明と小児の診療
- ・健・子どもの病気の地図帳
- ・健
- ・幼児の心とからだをみつめて

問9. これからどんな内容の本があれば、職務に役立つと思いますか？(具体的に)

- ・保育所、幼稚園児を対象とした、虫歯予防教育、食育等の効果的な方法、アイデア集、教材集があると非常に嬉しいです。
- ・皮膚疾患などの症状が写真でわかりやすく説明してあるもの。外傷(擦過傷などから、いろいろ)などに対して、養護教諭が応急処置でどんな事をするのか、具体的に(薬品名なども)示したもの。人によって違う。
- ・幼稚園養護教諭の執務の手引き←これがあれば怖いものなしです。保健指導案
- ・それ1枚あれば保健指導がすぐ行えるというような資料集*絵や図で分かりやすく書かれていて子ども達のお目おひくようなもの
- ・まだよくわからない
- ・幼稚園の養護教諭の執務について
- ・保健教材の型紙集(絵が苦手なため)。幼保の保健指導。
- ・幼稚園での養護教諭の職務について。健康診断・保健指導など。

問10. その他どんなことでもお書き下さい

- ・今母子保健事業を実施していて、幼稚園、小学校等にも予防教育の展開を少しずつ始めたところなので今後も事業の参考に貴ホームページを活用させていただこうと思います。「とんでった は」はとても興味があったので今回無料配布となると知りすごくビックリし、とても有難く思います。
- ・私は看護教員ですので幼稚園養護教諭の方との連携について考えていきたいと思っております。(小児看護学を担当)
- ・小学校の養護教諭の経験はあっても、幼稚園はその組織も違うためなかなか難しいです。保健職員同志のつながりもなく研修もありません。細かいことでも私の考えだけで行っているのと同じ職種の方がどうしているのかとても興味が

あります。オフ会っていうのにも参加したいなと思います。山口先生はたいへんなことを、いろいろやってくれて、ありがたいです。これからもよろしくお願いします。

- ・私の職種は養護教諭と園事務を合わせたようなもので、保健室もなければ教諭としての扱もなく(採用条件には看護師と養護教諭の資格が必要でしたが・・)なんとなく中途半端な立場でいろんなことに…納得するのに時間がかかっています。少しずつ幼稚園における養護教諭の役割について明確化していきたいと思っています。先生方が取り組まれてきた活動を参考に子ども達の健康のために今までより一層自己研修に励んでいきたいと思っています。これからもよろしくお願いいたします。
- ・これからも頑張ってください。私も頑張りたいと思います。
- ・とにかく6月から未経験の職場になりますので少しずつ情報を得たいと考えています。掲示板とても頼りにしています。
- ・今年度より本園でも正式に養教が配置され着任しました。今まで小学校に15年の経験しかないのでホームページたのしみにしています。
- ・今年度より本園でも正式に養教が配置され着任しました。今まで小学校に15年の経験しかないのでホームページたのしみにしています。
- ・私立の幼稚園なので他園とのネットワークが確立されていないので情報の交換など機会がなく手探り状態です。ちょっとしたことでも他園ではどうかしらと相談できる場をつくっていききたいと思っています。
- ・小学校養護教諭の目から見ても、日々の大変さを感じる。幼稚園・保育所の養護教諭の先生方。少しでも力になれば…と感じます。なかなかメールを開けないときがありますが…。
- ・公立幼稚園の第1号園は、昭和43年設立でピーク時は20園ありました。ここ数年の行革で「民営で出来ることは民営で」の合言葉の中で、平成14年度末までに18園は廃園になり現在2園残り3年保育を実施中です。新任のころは、不平・不満も多く研究会・研修会で知り合いを見

つけると愚痴のオンパレードでした。仲間は、小・中・高へ移動して行きその後任は、新任でした。その新任も数年経つと他校種へ異動して行きました。私も数回、他校種への異動の機会はありましたが、幼児の笑顔が好きで今でも幼稚園勤務です。研修会等でかつての幼稚園仲間と保健談義に花を咲かせると、「幼稚園の経験が今の仕事に役に立っている」との声も聞かれます。今までに公立幼稚園が担ってきたものは大きいと思います。今、公立の施設が無くなりつつある中、幼稚園の学校保健の将来が心配です。青少年の犯罪の根底は幼児期の教育にさかのぼることも大いにあると思います。これからは、私立の幼稚園にも養護教諭の配置が望まれます。早急に法の改正をお願いします。

IV. 考察

調査の結果、以下のことが明らかになった。

- ホームページをみて幼稚園養護教諭以外の専門家から研究プロダクツの申し込みがあった。
- 養護教諭向け保健雑誌に研究プロダクツのピアーアール記事を載せてもらったこともあり、他校種の養護教諭からも問い合わせがあった。
- 幼稚園における養護教諭の配置状況に関する全国基本調査では知りえなかった幼稚園養護教諭からのアプローチがあった。
- 今回、題材としたのは幼稚園の幼児向けに開発したプロダクツであった。他職種(看護師・歯科衛生士など)の専門家からの申込があったことから、幼児期の保健指導教材へのニーズが職種を問わず存在することが窺えた。幼児を対象とした保健指導教材ということもあり、わかりやすく興味をひく内容と考えた他校種(小学校・養護学校)の養護教諭からの申込もあったのではないかと推察された。
- この質問紙調査から、幼稚園養護教諭の配置されている園が新たに把握できた。健康支援の専門家(養護教諭等)が配置されている幼稚園で、いまだ本研究班が把握しきれていない施設があることが推測された。

研究プロダクトについて

ご意見・ご感想は、ホームページ等に搭載させていただくかもしれませんのでご了承下さい。

個人名・所属等は一切搭載いたしません。

2004年 月 日

氏名		e-mailアドレス
職種	養護教諭 ・ 保健職員 ・ 看護師 ・ その他 ()	
(よろしければひとことおねがいたします)		
1. 幼稚園養護教諭における同業種間内連携ニーズに関する調査報告書を読んだ感想・意見		
2. これから欲しい情報や研修のテーマについて (具体的に)		
3. その他どんなことでもお書きください		

ご意見・ご感想カード

ご意見・ご感想は、ホームページ等に搭載させていただくかもしれませんのでご了承下さい。

個人名・所属等は一切搭載いたしません。

2004年 月 日

氏名		e-mailアドレス
職種	養護教諭 ・ 保健職員 ・ 看護師 ・ その他 ()	
1. 紙芝居についてのご感想やご意見 (活用された機会、活用されての感想など)		
2. パンフレットについてのご感想やご意見 (活用された機会、活用されての感想など)		
3. その他どんなことでもお書きください		

幼児期の健康支援のための保健統計ソフト（保健日誌）の開発に関する研究

河合 三奈子	八幡市立八幡第五小学校
山口 智佳子	奈良教育大学附属幼稚園
小松原かおり	京都教育大学附属幼稚園
安田 梓	大阪市立幼稚園
松浦 賢長	福岡県立大学看護学部地域国際看護学講座
山縣 然太郎	山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座

保育所（園）・幼稚園の学校保健分野において用いられる保健統計ソフトはこれまで存在しておらず、小中学校向けに開発されたものを幼稚園において用いているという状況であった。本研究班が行った「研究プロダクト（幼稚園保健日誌と幼児健康統計ソフト）の開発に向けてのニーズ調査」において、幼児期における保健統計ソフトが求められていることが示唆された。

そこで保育所（園）・幼稚園において活用しやすい保健統計ソフトを開発していく必要があると考え、保健日誌の記載内容を中心とした保健室来室状況を統計処理できるソフト「すこやか保健室」を開発したので報告する。

I. はじめに

本研究班による「研究プロダクト（幼稚園保健日誌と幼児健康統計ソフト）の開発に向けてのニーズ調査」によると、幼児保健統計ソフト“すこやか保健室”について興味があるので見てみたいという回答が54.4%、今までこのようなソフトがなかったので絶対使ってみたいという回答が26.5%で、高いニーズを示していた。保育所（園）・幼稚園の学校保健分野において用いられる保健統計ソフトはこれまで存在しておらず、小中学校向けに開発されたものを幼稚園において用いていた。しかし、幼児期と学童期では実態に相違があるため活用しきれないという状況であった。そのため、感覚的に気になる子どもや保護者の課題を持っていても、具体的なエビデンスがないために、それを次の支援段階へと発展させることが困難であった。

そこで、日々の執務記録で比較的使用頻度の高い、保健日誌の記載内容を中心とした保健室来室状況を統計処理できるソフトを開発し、全国の保育所（園）・幼稚園養護教諭に提供し、気になる子どもや保護者の健康支援や組織連携確立の材料として活用がなされることを目的として研究を行った。

II. 方法

すこやか保健室は、保健室来室状況を統計処理

できる「保健日誌」を有するソフトである。

このソフトは、Microsoft Windows XP + Microsoft Excel2002 SP3のVBAマクロ機能を利用して開発した。

III. 保健統計ソフト（保健日誌）の実際

1. 概要

このソフトは、けがや病気などによる子どもの保健室（保健コーナーまたは職員室での職員による対応を含む）来室状況や、保護者への健康相談活動を毎日記録していくことで、そのデータが統計処理されるソフトである。

2. 活用目的

①保健指導に生かす

来室データをもとに、子どもや保護者の状況を客観的に把握し、保健指導に役立てる。

②保健管理に生かす

来室データをもとに、子どもや保護者の状況を客観的に把握し、対人管理（心身の管理・生活の管理）や対物管理（園内環境の管理）に役立てる。

③気になる子どもや保護者の健康支援計画に生かす

気になる子どもや保護者に対して、個別の健康支援計画を立て、個に応じた効果的な支援活動を

実行する。

④発達障害などの特別支援計画に生かす

ADHDや高機能自閉症などの疑いがある子どもの早期把握に生かし、個別の特別支援計画を立て、効果的な支援活動を実行する。

⑤実態に応じた組織連携に生かす

気になる来室状況の傾向に対して、実態に応じた組織連携を推進する。

⑥けが発生の抑制に生かす

けがの多発時期や場所から、園内の潜在的な問題を早期に把握し、けがの発生を抑制する。

⑦安全指導に生かす

けがの多発時期や場所から、子どもに注意を促し、安全指導にも役立てる。

⑧保護者の啓発に生かす

気になる来室状況に対して、家庭での望ましい生活習慣のあり方などを保護者に啓発する。

⑨他機関との連携に生かす

行政や児童相談所、学校、病院などと連携が必要な場合において、実態把握や資料作成などに役立てる。

⑩経年把握に生かす

年度ごとの推移を追っていくことで、その時代にあった課題や成果、特徴を的確に把握する。

3. 機能

保健室来室者の氏名、来室日時、来室理由などを入力し、保健日誌用の表及び来室状況分析のためのグラフを表示・印刷することができる。

4. 活用利点

- ・これまで手書きであった保健日誌の内容をパソコン入力に切り替えることで、自動的に来室状況一覧表などが作成できる。
- ・月別、年度別に頻回来室者一覧表が自動的に作成される。これにより、誰が・何回・何の理由で頻繁に来室しているかがリストアップされ、気になる子どもや保護者に対して個別の

健康支援計画を立て、効果的な支援活動を実行することができる。

- ・男児・女児・保護者の来室割合を把握できる。
- ・どの月に・どのような理由で来室したかが把握できる。
- ・何曜日に、何人が来室したかが把握できる。
- ・どのクラスに、何人が来室したかが把握できる。これにより、実態に応じた組織連携を推進することができる。
- ・内科的来室理由の選択項目を、なんとなくだるい、言葉にできないなど、現代の子どもによく見受けられる症状として「倦怠感」「不定愁訴」と入力できる。また、ぜん息・アトピー性皮膚炎など増加傾向にある疾患を入力できるよう、「アレルギー」を追加した。
- ・外科的来室理由の選択項目として、幼児期に発生頻度の高い「ひっかき傷」「噛み傷」が入力できる。これにより、他の外科的理由と比較してこの2点のみが多く発生していれば、他児によるけがが多いということを推測することができる。
また、これまでの学校保健に関する市販ソフトにはなかった「鼻出血」「虫さされ」「とげ」などが入力できる。
- ・健康相談的来室理由を設定した。これにより、保護者に対応した内容について記録・分析することができる。
- ・負傷場所や負傷時間の選択項目を設定した。これにより、園内の潜在的な問題や課題を早期に把握し、けがの発生を抑制することができる。
- ・負傷部位を細かく選択できるよう設定した。これにより、保護者への説明も正確に行うことができる。
- ・養護教諭が行った処置・対応や対応後の状況を入力できるようにした。これにより、保健室で行った対応が、その後どのような結果に変容したかを総合的に追跡でき、保護者への事後説明を正確に行うことができる。
- ・全部で27種類の月別・年度別の表やグラフが自動的に作成される。この結果により、子どもに対しては保健指導や安全指導を行うことができる。保護者に対しては、家庭での望ましい生活習慣のあり方を啓発することができる。園内職員に対しては、保健管理・健康支援・特別支援・けが予防対策などを実施するための組織連

携や共通理解の推進を行うことができる。

IV. おわりに

子どもの健康を守り育てるために、学校保健の分野は重要な役割を担っている。特に幼児期に初めて出会う学校保健は、生涯にわたり健康に生活しようとする態度を育成するための基礎、基盤となる。

また、学校保健の視点から保護者への支援活動を実施することは、その後の子どもの健やかな成長に大きく影響する。そのために今回新しい取り組みとして、保護者の保健室利用状況も入力できるよう工夫した。

今回開発したソフトは、その基本となる個々のデータを集計、統計処理できるものである。子どもの心身における健康の課題を明確にし、早期把握、支援、連携、解決のためのエビデンスとすることができる。

このソフトの活用により、養護教諭の従来の役割について重要性を認識し、園内体制の中でその専門性を発揮することができるよう期待する。

表1 入力項目一覧表

すこやか保健室★保健日誌ソフト 【 入力 】 項目一覧表	
入力項目	選択肢
年度	1999年度(平成11年度)～2030年度(平成27年度)
組	最大24クラス, 1クラス定員40名
氏名	直接入力 or 選択入力
性別等	男、女、保護者
入室時間	5分単位
入室理由	内科的、外科的、健康相談
入室理由 詳細	内科的 頭痛、発熱、腹痛、吐き気、嘔吐、下痢、倦怠感、不定愁訴、発疹、アレルギー、おもらし、着替え、つきそい、会話、読書・絵画、なんとなく、クラス活動拒否、経過報告、その他(19)
	外科的 ひづかき傷、噛み傷、擦過傷・挫創、切傷・裂傷、刺傷、打撲、捻挫・つき指、骨折、鼻出血、熱傷、虫さされ、とげ、異物迷入、筋肉痛、関節痛、肩こり、寝ちがひ、疼痛、結膜炎、さかむけ、しもやけ、かぶれ、虐待の疑い、経過報告、その他(25)
	健康相談 生活習慣、夜尿症、アレルギー、成長痛、歯・口腔、発育・発達、子の精神状態、親の精神状態、家庭環境、子育て、家でのけが、受診状況、経過報告、薬、予防接種、感染症、兄弟の用事・相談、友人との関係、教師との関係、クラスでの様子、いじめ、登校しぶり、その他(23)
(外科的のみ) 負傷した場所	運動場・園庭、体育・遊戯施設、教室・保育室、講堂、遊戯室、廊下、昇降口、階段、ベランダ、屋上、便所、建物内その他、テラス、中庭、アスファルト、れんがタイル、プール、建物外その他、敷地外、家庭(20)
(外科的のみ) 負傷した 遊具の種類	鉄棒、ぶらんこ、シーソー、回旋塔、滑り台、ジャングルジム、雲てい、登り棒、固定タイヤ、砂場、土山、総合遊具、その他(13)
(外科的のみ) 負傷した 時間帯	【園】(7) 好きな遊びの時間、片付け、クラス活動、食事中、登降園中、園庭開放、その他(園) 【学校】(13) 始業前、休み時間、中間休み、昼休み、体育、図工、その他教科、給食、清掃、クラブ、学校行事、登下校中、その他(学校)
(外科的のみ) 負傷した 部位	右、左、両方、頭部、頬、額、目、鼻、口、歯、耳、頸部、上腕、前腕、肘、手首、手掌、手背、母指、示指、中指、環指、小指、胸部、背部、腹部、腰、鼠径部、性器、臀部、大腿、下腿、膝、足首、踵部、足底、足背、第1指、第2指、第3指、第4指、第5指、爪(43)
処置・対応	消毒、止血、冷電法、異物除去、検温、呼吸観察、脈拍測定、血圧測定、保温、休養、スキンケア、傾聴、経過観察、健康相談、保健指導、爪

表2 出力項目一覧表

すこやか保健室★保健日誌ソフト 【 出力 】 項目一覧表	
集計・ グラフ名	詳細
利用状況 一覧	保健日誌の下欄にあたる部分である。 表示期間を〇月〇日から〇月〇日と入力すれば、その期間内に入室した幼児・児童・保護者の日付、組、氏名、性別、時間、入室理由、負傷場所、負傷部位、処置・対応、処置後の状況、備考が表示される。
月別 入室データ	1 入室状況 (内科的、外科的、健康相談別に人数を表示)
	2 曜日別 (月～土曜日別に人数を表示)
	3 男女等別 (男、女、保護者別に人数を表示)
	4 組別 (クラス別に人数を表示)
	5 入室理由・内科的 (内科的な入室を19項目別に人数を表示)
	6 入室理由・外科的 (外科的な入室を25項目別に人数を表示)
	7 入室理由・健康相談 (保護者からの相談を23項目別に人数を表示)
	8 負傷場所 (けがをした場所を20項目別に数を表示)
	9 体育・遊戯施設の種類 (けがをした遊具の種類を13項目別に数を表示)
	10 負傷時間帯 (けがをした時間帯を20項目別に園と学校に分けて数を表示)
月別 入室グラフ	11 負傷部位 (けがをした部位をのべ43項目別に数を表示、かつ、グラフ用に14項目別に部位をまとめ、数を表示)
	12 処置・対応 (教師が施した内容をのべ25項目別に数を表示)
	13 処置後の状況 (その後の幼児・児童の様子を6項目別に数を表示)
月別 頻回来室 幼児一覧	月別入室データの数値をグラフ化 1 入室理由の内訳＝表 3 男女等別 ＝円グラフ 2と4～13 ＝棒グラフ
年度別 入室データ	入室回数を〇回以上と指定することで、その条件に当てはまる幼児・児童名と、組、性別、入室理由別回数、子ども及び保護者の入室回数と合計が表示される。
年度別 入室グラフ	1 月別入室状況 (内科的、外科的、健康相談別に月ごと人数を表示) 2～13は月別入室データと同様に表示される。
年度別 頻回来室 幼児一覧	1 月別入室状況 ＝折れ線グラフ 他は、月別入室グラフと同様に表示される。
年度別 頻回来室 幼児一覧	月別頻回来室幼児一覧と動揺に表示される。

すこやか保健室☆保健日誌ソフト

幼児期及び学童期において、保健室、保健コーナー、職員室等すべての職員が、子どもや保護者の毎日の訴えに耳を傾け、どのような視点から健康支援をしていけば良いのかを的確に把握することはとても重要なことです。この保健日誌ソフトは、その目的を達成するため、幼稚園や保育園に合わせたソフトです。

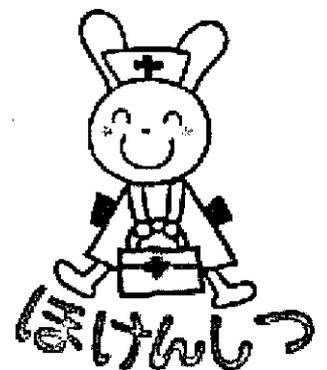
- ・ 組、氏名
- ・ 性別等（男・女・保護者）
- ・ 来室日時
- ・ 来室理由（内科的・外科的・健康相談）
- ・ 来室理由詳細
- ・ 負傷場所、負傷遊具、負傷時間帯、負傷部位
- ・ 処置・対応（教師が対応した内容）
- ・ 処置後の状況（子どものその後の様子）
- ・ 備考（けがの理由などを記述）

これらの結果を入力することにより、視覚的に把握しやすいグラフや表が簡単に作成できます。他にも、おたより用に見出しのついたグラフも自動的に作成することができます。

名簿ファイルに入力した氏名と性別が反映されるため、その都度入力する必要がなく、効率の良いデータ処理ができるようになっています。

このソフトにより、保健日誌の様式一覧ができます。また、月別や曜日別、男女・保護者別、クラス別、来室理由別、負傷場所別、負傷遊具別、負傷部位別、負傷時間帯別の来室状況が把握できるため、管理下での潜在的な危険を早期に把握し、怪我の発生を抑制することが可能になります。

月別や年度別の頻回来室児童一覧も回数を指定してピックアップできるため、感覚だけでなくデータとして気になる児童や保護者の早期把握、早期支援が可能になります。



厚生労働省科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業

「健やか親子21の推進のための情報システム構築

及び各種情報の利活用に関する研究」班

（主任研究者：山縣然太郎）

松浦賢長分担班 学校保健グループ

2005年3月

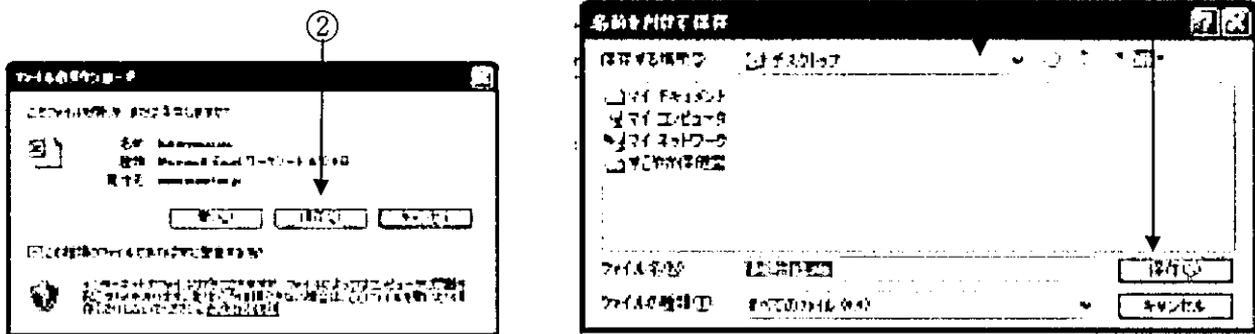
はじめに

必ず、使用するパソコンに保存してから使い始めましょう。

1 メールやCDから、ファイルをパソコンに保存しましょう。

☆ メール本文に記載されたURLからファイルをダウンロードする場合

- ① 指定されたURLでユーザー名とパスワードを入力する。
- ② 下のような案内が出たら、「保存」。
- ③ 「保存する場所」を「デスクトップ」などにして、保存します。



☆ CDから使う場合

- ① CD-Rをパソコンにセットします。
- ② 「スタート」から「マイコンピュータ」を「左クリック」
- ③ CDドライブを「右クリック」して「コピー」を選ぶ
- ④ デスクトップの上で「右クリック」。「貼り付け」を選んで、保存する。

